

天草市「轟の滝」川遊び

下痢や嘔吐 発症69人に

天草市天草町下田北の「轟の滝」周辺で川遊びをした人たちが下痢や嘔吐の症状を訴えた問題で、熊本県天草保健所は21日午前9時現在で69人の発症が報告されたことを明らかにした。水質検査を実施して

り、今週中にも一部の結果が出る見通し。

県天草広域本部維持管理課によると、周辺にはバンガローがあるものの、上流も含めて排水源となる施設は確認されていない。

轟の滝は地域の憩いの場として知られ、近年は地域外の家族連れなどが多く訪れている。地元住民によると、今年のお盆の時期は駐車場が埋まり、車が止められないほどだった。

地元区長の高見満則さん(67)は「川遊びをして体調

を崩すなんて聞いたこともなく、驚いている。今年は雨が少なかったため、よほど場所菌などが滞留したのではないか」と話した。

崇城大薬学部の武知進士教授(衛生薬学)は原因について、病原体と有害物質

の二つの可能性を挙げた。病原体については「滝のしぶきを吸い込むなどして感染した可能性はあるが、水がかなり汚れていたり、大量に摂取したりしないと発症は考えにくい」と説明。有害物質の場合は「水質検



川遊びをした人たちが体調不良を訴えている「轟の滝」
=21日、天草市

査で判明する」と述べた。淡水には寄生虫、周囲にはダニがいる場合もあり、遊んだ後は手洗いやうが

い、シャワーで体を清潔にすることが重要だ」と話した。

保健所によると、13日に川遊びをした高校生7人が発症し、16日に医療機関を受診。20日までに46人の発症が報告されていた。その後も同様の症状を訴える患者が相次いでおり、県は遊泳や水遊びを控えるよう呼びかけている。

県警は事件性については低いとみている。

(福井一基、九重陽平)

